

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

1. めざす学校像

四條畷学園中学校
校長 仲尾 信一

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「人をつくる」ことに基づく教育を実践します。また、思いやりのある人となるよう心を鍛え人間的な成長を実現し人格の形成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において、きめ細かい指導を行い、自立にむけて必要とされる基盤となる能力や態度を育成します。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、学校行事や部活動への積極的参加を促し、豊かな人間力を育成します。

2. 中期的目標

- 1 建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮します。
 - (1) 私学の独自性
※教員の評価アンケートにおける「建学の精神の理解」(27年度4.3 28年度4.4)は目標値に達している。これを平成30年度まで維持します。
 - (2) 生徒のニーズに対応したコース制
※生徒評価アンケートにおける「コース満足度」(27年度4.1 28年度4.1)を毎年少しずつ上げ、平成30年度には4.2にします。
 - (3) 進路指導
※生徒評価アンケートにおける「進路面接等の満足度」(27年度4.1 28年度4.2)を毎年少しずつ上げ、平成30年度には4.2にします。
- 2 学習面において、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行います。
 - (1) 教科指導
※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学力向上の意欲」(27年度 生徒3.6保護者3.8)(28年度 生徒3.7保護者3.7)を平成30年度にはどちらも4.0以上にします。
 - (2) 人権教育 生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行います。
※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学校のいじめの対応満足度」(27年度 生徒3.6保護者3.7 28年度 生徒3.7保護者3.8)を平成30年度にはどちらも4.0以上にします。
- 3 基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行います。また、学校行事や部活動を通じて豊かな人格形成を行います。
 - (1) 生活指導
※生徒・保護者の評価アンケートにおける「教員の規則をやらせる指導」(27年度 生徒4.2保護者4.0 28年度 生徒4.2保護者4.1)は平成30年度にはどちらも4.2以上にします。
 - (2) 危機管理と情報公開
生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考えて情報を公開します。
※教員自己評価アンケートにおける「学校安全対策」(27年度 4.0 28年度 4.1)であり、平成30年度まで維持します。
※保護者評価アンケートにおける「学校の情報公開」(27年度 保護者3.9 28年度 保護者3.9)であり、創意工夫を重ねて平成30年度には4.2にします。
 - (3) 学校行事や部活動
※クラブ活動については4.1、行事が人間的に成長させているが4.3と高評価である。次年度もこれを維持する。
 - (4) 課題を抱えている生徒への支援
※生徒評価アンケートにおける「個人面談等の満足度」(27年度 3.8 28年度3.8)を毎年少しずつ上げ、平成30年度には4.0を超える。
- 4 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献
※保護者評価アンケートにおける「PTA活動の満足度」(27年度 3.8 28年度 3.9)であり、平成30年度には4.0にする。
※生徒評価アンケートにおける「生徒会活動の満足度」(27年度 4.1 28年度4.2)であり、平成30年度まで維持する。
5. 募集対策
※小中高の内部連携を強め、内部進学者の増加に努めます。
※説明会やホームページを充実させ、四條畷学園の魅力を発信する

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

3. 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組み内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の 実践と私学としての 独自性	(1) 私学の独自性	<p>ア. 職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践します。</p> <p>イ. 入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解を深めます。</p> <p>ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図ります。</p>	<p>ア. 私学であるため教員による建学の精神及び教育理念の理解及び実践が4.4です。</p> <p>イ. 諸式を通じて校長講話の中で建学の精神や教育理念等の内容をわかりやすく説明します。(28年度生徒 3.9)</p> <p>ウ. 生徒指導部の月間目標に教育方針の内容を取り入れ、生徒に啓発を行います。</p>	
	(2) 生徒のニーズに対応したコース制	<p>ア. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組みめるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ります。</p> <p>イ. 英数発展コースは、夏期講習や3年の土曜日午後の授業で応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応えます。</p> <p>ウ. 6年一貫コースは、総合的な学習の一貫である「自分プロジェクト」で自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成します。</p>	<p>それぞれのコースの特徴を理解し、コースの取組に満足しているかの設問に対し、</p> <p>ア. (平成28年度 生徒 4.1 保護者4.0)</p> <p>イ. (平成28年度 生徒 4.2 保護者4.4)</p> <p>ウ. (平成28年度 生徒 3.8 保護者4.2)</p> <p>全コースの平均 平成28年度 4.1です。</p>	
	(3) 進路指導	<p>ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行います。</p> <p>イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、進路相談や進路支援を行います。</p>	<p>ア. 生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンス(平成28年度4.0)を行います。</p> <p>イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっています 目標値はクリアしていませんが、4.5以上を目指します。</p>	

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

3. 本年度の取組内容及び自己評価 【学習指導・人権教育】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
2 学習面において、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくり	(1)教科指導	<p>ア. 各教科は基礎・応用を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導します。</p> <p>イ. 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行います。</p> <p>ウ. 学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施します。</p>	<p>ア. 教員によるシラバスに沿った指導の目標を4.3にします。(平成28年度 4.2)</p> <p>イ. 教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を4.5にし、(平成28年度4.3)生徒・保護者による授業は分かりやすいか。(平成28年度 生徒3.9 保護者3.8)との開きが大きい、生徒保護者の目標値を4.2以上に設定します。</p> <p>ウ. 教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっています。(平成28年度4.3)生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値がほぼ一致していますが(平成28年度 生徒4.0 保護者4.0)それぞれ4.3以上を目標とします。</p> <p>生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲が低く(平成28年度 生徒3.7 保護者3.7)4.0を目標とします。</p>	
	(2)人権教育	<p>ア. 人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行います。</p> <p>イ. いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てます。</p> <p>ウ. 障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行います。</p> <p>エ. 12月の人権週間には中学校行事として、人権講演を実施します。</p>	<p>ア. 教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践していますが(平成28年度4.2)昨年より0.1ポイント下降しています。</p> <p>イ. 生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(平成28年度 生徒3.7 保護者3.8)と低い、目標は4.0以上と設定します。</p> <p>ウ. 教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践します。(平成28年度4.2)</p> <p>エ. 人権講演や道徳的な行事については(平成28年度 生徒4.3 保護者4.0)保護者の満足度が低い。</p>	

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

3. 本年度の取組内容及び自己評価 【学校生活】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
<p>3</p> <p>基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通じて豊かな人格形成を行う。</p>	(1)生活指導	<p>ア. 基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につかせます。</p> <p>イ. 重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、挨拶運動・シェアザント運動を実施します。</p>	<p>ア. 教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は4.5以上(平成28年度4.5)であったが、生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導(平成28年度生徒4.2 保護者4.1)差0.5を縮めることを目標とします。</p> <p>イ. (平成28年度 生徒3.7 保護者3.9)と昨年より評価が0.3ポイント上がったが生徒会を中心に積極的に挨拶運動を行い、学校月間目標により、さらに啓発を行います。</p>	
	(2)危機管理と情報公開	<p>ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざします。</p> <p>イ. 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行います。</p>	<p>ア. 安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備(平成28年度4.1)及び、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は(平成28年度4.1)4.5以上の目標が必要です。</p> <p>イ. 情報公開については、保護者の満足度が低く、(平成28年度 生徒3.9 保護者3.9)4.2以上を目指します。</p>	
	(3)学校行事や部活動	<p>ア. 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励します。</p> <p>イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させます。</p>	<p>ア. 説明会やガイダンスなどで、クラブ活動の参加を奨励します。(平成28年度 生徒4.1 保護者4.1)</p> <p>イ. 多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に行動できる生徒を育てます。(平成28年度 生徒4.3 保護者4.4)</p>	
	(4)課題を抱えている生徒への支援	<p>ア. 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行います。</p> <p>イ. 問題解決の部署としてICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、相談しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>ア. 日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっています(平成28年度4.3)</p> <p>イ. 生徒の個人面談等の満足度は低い。(平成28年度 生徒3.8)両方とも4.2以上を目標とします。</p>	

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

3. 本年度の取組内容及び自己評価

【社会貢献】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
4 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献	(1)保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動に協力する。	ア. 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援します。 イ. 復興支援やボランティア活動等で地域に協力します。	ア. 保護者から見るPTA活動は(平成28年度 保護者3.9)目標値レベルです。 イ. 生徒から見る生徒会活動は(平成28年度 生徒4.2)と昨年より0.1ポイント上昇しました。	